

議長 文教委員会委託するに報告する。

「夫対入夫に対する」に未手当の件。

助役 地下足袋 一足 作業ズボン 一着 現金四千円也

右は一入当りである。

夫対は、その前より、その要求は二ヶ月分支給を陳情して
いる。故には具体的には行なうが町のためにもなっていることである。はん
とかふは特別の考慮を願いたい。と云うのである。

又委員とか町議会とか会合ともうたうとも云うた。

他町おは、未だ肉やない。 一応申し入があるが発表を次でである。

議長 一応聞きとく程とする。

「社会核病院組合の件」報告

町長 本件については量表にも申上げてあるが、三五日に上棟式をやる予定

であるが、三十日とする。 鳩和建設が五九一円で落成。

工期は十二月末の迄とする。 直接の町村の負担はないと思はれる。

「吏員半」当支給について。

吏員退けを命ずる。

終了 午後五時

協議会

一出席者

議会側

別紙通り

役場側

町長 助役 総務課長 民生課長 税務課長 吉水 上野

一競輪の開催につき

一町長 競輪開催も三月十四日より一週間予定が決定し書翰も一部終了終る

つる 時期については色々協議されたが結局三月の開催となった

一水道建設につき

一助役 五ヶ所の掘り入れも終り揚水試験を行う段階にまで至った

配管については市補助相当分も実施する予定で一部鉄管の購入契約も了した

一第三小学校体育用具につき

一助役 第三小学校の体育用具は文教教育合同委員会の決定に基き現在

殆ど完成した

定時制高校について

町長

副町長、教育委員長に陳情を行ったが、予算が足りないという困難であった。ようであるが、定時制の分校を設置するようになったとの話も出てくるが、予算の件で何色あるというであったので昭和二十一年は於ける設置は困難であるので、来年なりでも予算がとれれば分校でもという陳情を行った。

町とこの準備体制は教室は中学校も使用し、教員室その他については設備するよう意向を示した。

議員礼賞について

一 町長 協議会の課に基き、総務委員会に委任されたので各町村とも考え合せ一、二五と云う線が定まり、これは裏付けされたものであるが、七月の課は二〇〇が残っている。その今を含め、五ヶ月予算化すれば足りる年額については課局一、七五と云う結果は、今週一、三七と云う課が定まり、このうち二、〇〇〇だけ少なくすると、この結果は二、〇〇〇。

議員の手当についても礼賞として

と支給する基準については、常任委員

会のお席席に於いて渡り、支払いの支給は年内に行うが、予算については

来年度取組ベースアップと併せて行いたい。

一 夫対労働者の手当について

議長

傍聴につき語る。

一村

総務委員長に委任されているので、その課の進められたい。

一 助役

十一月十四日の常任委員、総務委員、と協議の結果、際從來貸付した返済されないことを調べるが、一四万円あり、半額は返納不可能がある。

その時労働者代表と委員長と会見し、未清分について返済の有無をたいした。が、夫対例は協議の結果として、今町の四、〇〇〇円を貸し出したならば返済する。と云う回答であった。その二、〇〇〇円は未清分につき責任を持つからと云う。

ような返事があった。書梅の場合、未清分も差引いて貸付した品物。五、〇〇〇円と云うような決定であり、五日市では、一、〇〇〇円ある。

品物代を交付する。と云う決定課をとり、但し対象は福生の働く農道。

初道南保者に限るとして

十五日より都から管理班が来て現場を監督しよう現場にすまよう奮勵した
管理班の人の話では労務者の圧力により、貸付馬を行きどろこないと言われ
ている。年末

「年末は労務者の取扱について」と朗読

矢野労働者との意見の聞く会

一 矢野側出席者

松本 保 石川 野口 岡石 森田

一 議長 南会士生口

一 松本 傍聴者許可された

一 議長 代表あるからその必要もないと思う

一 石村 時間も制限されているので代表があるしその必要もないと思う、場内は意

見の聞く会であるので有効に意見の陳述をした方がいい

一 森田 全員傍聴と云われた

一 石村 団体交渉とは別個であるしどうも国をいさめようという方ではなく、意見の

聞くという会であると思うので、さういふことをやきたい

一 松本 それではその件は皆さんが話し合ってください

一 矢野 矢野労働者の要求として最低であると思うが、あのような決定ではやり

きれない仕事について、批判もあるが生活をしてやってほしい

「岡田」 唯今の発言の通り最低限度の生活に當る意味で受されたい

「山口」 私の思ふは學校から受隊にとられたいと願うた方の原因は仕事

は出来ないのであれば給金はせめて八割、私の収入の主体で「八割」は

程度では生活出来ない、それで五割、五割と云うのは馬鹿げ

た話である、これは生活は出来ない

「松本」 實際に新聞では食糧問題論いられているが、私達は既にここに来て

からそれをやっている中ではその為結構に倒れる者もある、私達は正

月であるから要求するのでは無い、既に今までの赤字を計り

一銭の同情を、ないと思う方がある、現在の生活、苦境を知ら

ないと思う方が多いのである

「森田」 私、知人で夫婦七人で八〇〇〇円の収入である、これは生活出来ないで

歸って鉄屑を拾って生活の資にしているが、ミラニ業附近ではその為

減られてお尋ねに連行されおうとした事もある

又、石原某は失討では食えないので山奥へ移動し、事敗る為死に

た例もある、又生活保護を受けようとする者も無い人、で孫の代

までこの取柄を承けていく人、という人もある

「松本」 或人は今月十日間働かぬと都の手紙が来るというので無理に

アジと働かざる人もある

目録

年々々々々々々々々々

松本保 石井 野島 岡谷 森田 実

松本保 石井 野島 岡谷 森田 実

松本保 石井 野島 岡谷 森田 実

松本保 石井 野島 岡谷 森田 実

松本保 石井 野島 岡谷 森田 実

松本保 石井 野島 岡谷 森田 実

松本保 石井 野島 岡谷 森田 実

松本保 石井 野島 岡谷 森田 実

松本保 石井 野島 岡谷 森田 実

松本保 石井 野島 岡谷 森田 実

松本保 石井 野島 岡谷 森田 実

松本保 石井 野島 岡谷 森田 実

松本保 石井 野島 岡谷 森田 実

松本保 石井 野島 岡谷 森田 実

と一に、感情の状況はミラウよりずつとよい

中村 昭

ぼしむい得るい

その町の録を建めたい

一 菅 野

本委員長の決定が私達の本任に及ぶとあるからその録を建めたい
と希望すると思ふ

一 西 村

本委員長の意見をとり決まします

一 議 長

本委員長の決定された録を町長に送るものと要増する
決定